

海面漁業調査の結果概要

1 漁業経営体の動向

平成20年11月1日現在における鶴岡市の漁業経営体数は226で、前回調査(平成15年第11次漁業センサス、以下「前回」という。)と比較して41経営体(15.4%)減少した。

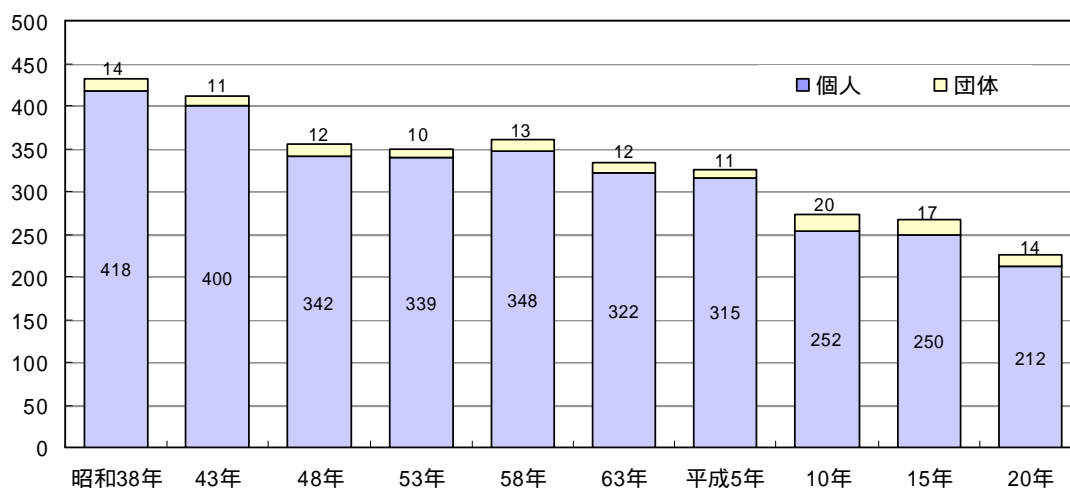
経営組織別に内訳をみると、経営体の大半を占める「個人」が212で前回と比較して38(15.2%)減少した。

表1 経営組織別漁業経営体数

経営組織	経営体数									
	昭和38年	43年	48年	53年	58年	63年	平成5年	10年	15年	20年
総数	432	411	354	349	361	334	326	272	267	226
個人	418	400	342	339	348	322	315	252	250	212
団体	14	11	12	10	13	12	11	20	17	14
会社	3	4	4	3	4	4	2	4	3	3
漁業協同組合	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
漁業生産組合	-	1	2	2	2	5	1	-	3	2
共同経営	8	4	4	3	4	1	6	13	8	8
その他	2	2	2	2	3	2	2	3	3	1

経営組織	増減率(%)									
	昭和43年	48年	53年	58年	63年	平成5年	10年	15年	20年	
総数	-4.9	-13.9	-1.4	3.4	-7.5	-2.4	-16.6	-1.8	-15.4	
個人	-4.3	-14.5	-0.9	2.7	-7.5	-2.2	-20.0	-0.8	-15.2	
団体	-21.4	9.1	-16.7	30.0	-7.7	-8.3	81.8	-15.0	-17.6	
会社	33.3	0.0	-25.0	33.3	0.0	-50.0	100.0	-25.0	-	
漁業協同組合	皆減	-	-	-	-	-	-	-	-	
漁業生産組合	皆増	100.0	0.0	0.0	150.0	-80.0	皆減	皆増	-33.3	
共同経営	-50.0	-	-25.0	33.3	-75.0	500.0	116.7	-38.5	-	
その他	0.0	0.0	0.0	50.0	-33.3	0.0	50.0	0.0	-66.7	

図1 個人・団体別経営体数の推移



2 漁業地区別漁業経営体

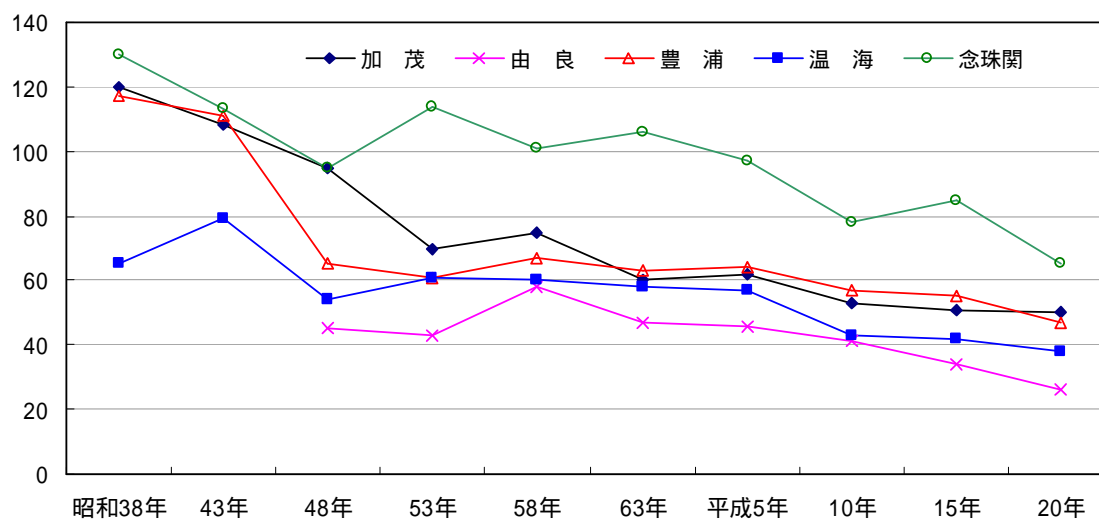
漁業地区別に比較してみると、全ての地区で前回より減少した。特に由良、念珠関の減少幅が大きく、それぞれ23.5%の減となっている。

表2 漁業地区別漁業経営体数

漁業地区	経営体数									
	昭和38年	43年	48年	53年	58年	63年	平成5年	10年	15年	20年
総数	432	411	354	349	361	334	326	272	267	226
加茂	120	108	95	70	75	60	62	53	51	50
由良	} 117	} 111	45	43	58	47	46	41	34	26
豊浦			65	61	67	63	64	57	55	47
温海	65	79	54	61	60	58	57	43	42	38
念珠関	130	113	95	114	101	106	97	78	85	65

漁業地区	増減率(%)									
	昭和43年	48年	53年	58年	63年	平成5年	10年	15年	20年	
総数	-4.9	-13.9	-1.4	3.4	-7.5	-2.4	-16.6	-1.8	-15.4	
加茂	-10.0	-12.0	-26.3	7.1	-20.0	3.3	-14.5	-3.8	-2.0	
由良	} -5.1	} -0.9	-4.4	34.9	-19.0	-2.1	-10.9	-17.1	-23.5	
豊浦			-6.2	9.8	-6.0	1.6	-10.9	-3.5	-14.5	
温海	21.5	-31.6	13.0	-1.6	-3.3	-1.7	-24.6	-2.3	-9.5	
念珠関	-13.1	-15.9	20.0	-11.4	5.0	-8.5	-19.6	9.0	-23.5	

図2 地域別漁業経営体数の推移



注) 昭和38年,43年の豊浦は由良を含む。

3 漁業層別漁業経営体

漁業層（漁業種類と使用漁船の規模による分類）別にみると、「沿岸漁業層」が経営体数 206（構成比 91.2%）、漁船隻数 307 隻（構成比 88.7%）の大部分と新規就業者 7 人（100.0%）の全数を占めているが、動力船総トン数は 357.5 トン（構成比 40.7%）と割合は低くなっている。

一方、「中小漁業層」は経営体数 20（構成比 8.8%）、漁船隻数 39 隻（構成比 11.3%）、新規就業者 0 人（0.0%）と割合は低いものの、動力船総トン数は 520.0 トン（構成比 59.3%）と多数を占めている。

表 3 漁業層別の構成

漁業層	経営体数	漁船隻数 隻	動力船総トン 数 トン	11月1日現在の 海上作業従事者数 人	新規就業者 人
総 数	226	346	877.50	311	7
沿 岸 漁 業 層	206 (91.2)	307 (88.7)	357.5 (40.7)	238 (76.5)	7 (100.0)
中 小 漁 業 層	20 (8.8)	39 (11.3)	520.0 (59.3)	73 (23.5)	- (-)
大 規 模 漁 業 層	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)

注) () 内の数値は構成比(%), 差率(%)

表 4 漁業層別経営体数の推移

漁業層	経営体数					増減率(%)			
	昭和63年	平成5年	10年	15年	20年	5年	10年	15年	20年
総 数	334	326	272	267	226	-2.4	-16.6	-1.8	-15.4
沿 岸 漁 業 層	307	303	247	245	206	-1.3	-18.5	-0.8	-15.9
中 小 漁 業 層	27	23	25	22	20	-14.8	8.7	-12.0	-9.1
大 規 模 漁 業 層	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4 経営体階層別漁業経営体

漁業経営体について、使用漁船の規模等により分類した階層別にみると、「動力船使用」で「5 トン以上 10 トン未満」で前回に比べ増加し、「10 トン以上 20 トン未満」、「100 トン以上 200 トン未満」は前回と同数であったが、その他の階層では減少しており、全体でも 40 経営体（16.3%）の減少となった。

表5 経営体階層別経営体数

経営体階層	経営体数					増減率(%)			
	昭和63年	平成5年	10年	15年	20年	5年	10年	15年	20年
総数	334	326	272	267	226	-2.4	-16.6	-1.8	-15.4
小型定置網	8	6	4	3	4	-25.0	-33.3	-25.0	33.3
海面養殖	-	-	2	1	2	-	皆増	-50.0	100.0
漁船非使用	-	-	-	-	0	-	-	-	-
漁船使用(計)	326	320	266	263	220	-1.8	-16.9	-1.1	-16.3
無動力船使用	-	6	2	2	-	皆増	-66.7	0.0	皆減
船外機付漁船	-	-	-	-	109	-	-	-	-
動力船使用(計)	326	314	264	261	111	-3.7	-15.9	-1.1	-57.5
1トン未満	124	144	119	128	3	16.1	-17.4	7.6	-97.7
1以上～3未満	137	116	95	82	58	-15.3	-18.1	-13.7	-29.3
3～5未満	23	19	19	19	21	-17.4	0.0	0.0	10.5
5～10未満	15	12	6	10	9	-20.0	-50.0	66.7	-10.0
10～20未満	17	17	20	18	18	0.0	17.6	-10.0	0.0
20～30未満	-	1	-	-	-	皆増	皆減	-	-
30～50未満	5	1	-	-	-	-80.0	皆減	-	-
50～100未満	2	2	1	1	-	0.0	-50.0	0.0	皆減
100～200未満	2	-	3	2	2	皆減	皆増	-33.3	0.0
200～500未満	1	2	1	1	-	100.0	-50.0	0.0	皆減
500～1000未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1000～3000未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3000トン以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-

前回調査までは動力船使用の1トン未満に船外機付漁船が含まれていたが、今回は別集計になっている。

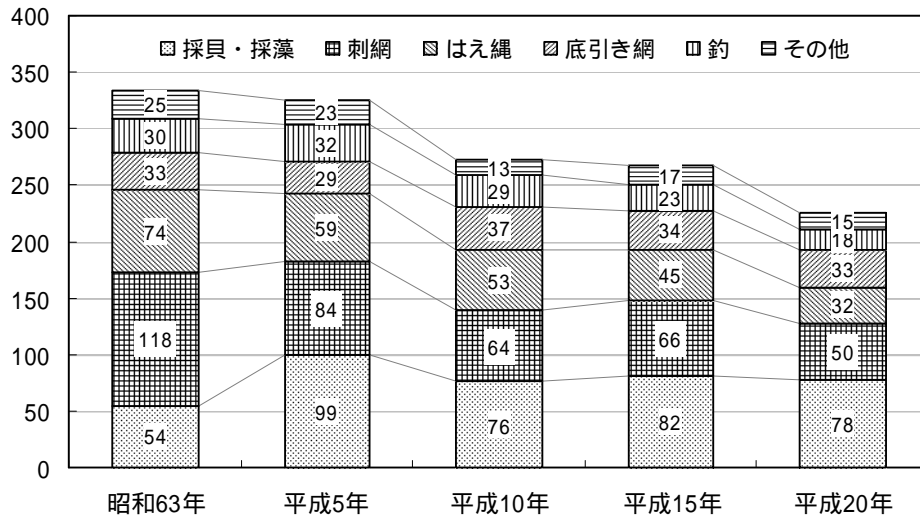
5 主とする漁業種類別経営体

漁業経営体を主とする漁業種類別にみると、「採貝・採藻」が78(構成比34.5%)、「刺網」が50(構成比22.1%)、「底引き網」が33(構成比14.6%)、「はえ縄」が32(構成比14.2%)であった。

表6 主とする漁業種類別経営体数

主とする漁業種類	経営体数					増減率(%)				構成比(%)			
	昭和63年	平成5年	10年	15年	20年	5年	10年	15年	20年	5年	10年	15年	20年
総数	334	326	272	267	226	-2.4	-16.6	-1.8	-15.4	100.0	100.0	100.0	100.0
底びき網	33	29	37	34	33	-12.1	27.6	-8.1	-2.9	8.9	13.6	12.7	14.6
刺網	118	84	64	66	50	-28.8	-23.8	3.1	-24.2	25.8	23.5	24.7	22.1
小型定置網	8	6	4	3	4	-25.0	-33.3	-25.0	33.3	1.8	1.5	1.1	1.8
はえ縄	74	59	53	45	32	-20.3	-10.2	-15.1	-28.9	18.1	19.5	16.9	14.2
釣	30	32	29	23	18	6.7	-9.4	-20.7	-21.7	9.8	10.7	8.6	8.0
船びき網	13	14	4	4	2	7.7	-71.4	0.0	-50.0	4.3	1.5	1.5	0.9
採貝	52	93	70	77	78	78.8	-24.7	10.0	-4.9	28.5	25.7	28.8	34.5
採藻	2	6	6	5		200.0	0.0	-16.7		1.8	2.2	1.9	
海面養殖	-	-	2	1	2	-	皆増	-50.0	100.0	0.0	0.7	0.4	0.9
その他	4	3	3	9	7	-25.0	0.0	200.0	-22.2	0.9	1.1	3.4	3.1

図3 主とする漁業種類別経営体数



6 経営組織別漁業経営体の状況

経営組織別にみると、「個人」が大半を占め、「会社」は加茂、豊浦、念珠関に各1経営体のみである。

表7 漁業地区・経営組織別経営体数

漁業地区	経営体数				構成比 (%)			
	総数	個人	会社	その他	総数	個人	会社	その他
総数	226	212	3	11	100.0	93.8	1.3	4.9
加茂	50	47	1	2	22.1	20.8	0.4	0.9
由良	26	24	-	2	11.5	10.6	-	0.9
豊浦	47	42	1	4	20.8	18.6	0.4	1.8
温海	38	36	-	2	16.8	15.9	-	0.9
念珠関	65	63	1	1	28.8	27.9	0.4	0.4

7 専兼業別の個人経営体

個人経営体を専業・兼業別にみると、「専業」は67で前回より7(1.2%)増加し、兼業は145で45(23.7%)減少した。

兼業の内訳では、「自営漁業が主」は74で1(1.3%)減少し、「自営漁業が従」は71で44(38.3%)減少した。

営んだ兼業の種類別では、「自営漁業が主」「自営漁業が従」とともに「勤め」が最も多く、「自営漁業が主」では56(構成比75.7%)、「自営漁業が従」では63(構成比78.3%)となった。

表 8 専兼業別個人経営体の推移

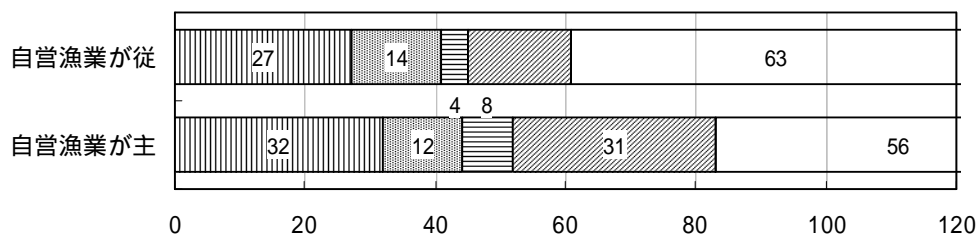
経営組織	個人経営体数					増減率(%)				構成比(%)			
	昭和63年	平成5年	10年	15年	20年	5年	10年	15年	20年	5年	10年	15年	20年
総 数	322	315	252	250	212	-2.2	-20.0	-0.8	-15.2	100.0	100.0	100.0	100.0
専 業	28	39	32	60	67	39.3	-17.9	87.5	11.7	12.4	12.7	24.0	31.6
兼 業	294	276	220	190	145	-6.1	-20.3	-13.6	-23.7	87.6	87.3	76.0	68.4
自営漁業が主	132	116	110	75	74	-12.1	-5.2	-31.8	-1.3	36.8	43.7	30.0	34.9
自営漁業が従	162	160	110	115	71	-1.2	-31.3	4.5	-38.3	50.8	43.7	46.0	33.5

表 9 営んだ兼業種類別個人経営体数

兼業の種類	兼業の個人経営体数		自営漁業が主		自営漁業が従	
	実数	構成比(%)	実数	構成比(%)	実数	構成比(%)
総 数	145	100.0	74	100.0	71	100.0
自 営 業	59	40.7	32	43.2	27	38.0
水産加工業	-	0.0	-	0.0	-	0.0
民宿	3	2.1	2	2.7	1	1.4
遊漁船業	20	13.8	13	17.6	7	9.9
その他	36	24.8	17	23.0	19	26.8
勤 め	119	82.1	56	75.7	63	88.7
共同経営に出資従事	47	32.4	31	41.9	16	22.5
漁業雇われ	12	8.3	8	10.8	4	5.6
漁業以外の仕事に雇われ	26	17.9	12	16.2	14	19.7

図 4 営んだ兼業種類別個人経営体の構成比

□ 自営業 □ 漁業以外の仕事に雇われ □ 漁業雇われ □ 共同経営に出資従事 □ 勤め



8 漁船の規模別隻数

漁業経営体が使用した漁船は 346 隻で、前回より 43 隻 (9.0%) 減少した。
船外機付船が 222 隻と、全漁船の 64.2% を占めている。

表 10 漁船の規模別隻数の推移

漁船規模	隻数(隻)					増減率(%)				構成比(%)			
	昭和63年	平成5年	10年	15年	20年	5年	10年	15年	20年	5年	10年	15年	20年
総数	418	376	307	389	346	-10.0	-18.4	26.7	-11.1	100.0	100.0	100.0	100.0
無動力船	6	9	2	5	-	50.0	-77.8	150.0	皆減	2.4	0.7	1.3	-
船外機付船	183	183	141	230	222	0.0	-23.0	63.1	-3.5	48.7	45.9	59.1	64.2
動力船	229	184	164	154	124	-19.7	-10.9	-6.1	-19.5	48.9	53.4	39.6	35.8
1トン未満	9	4	9	8	3	-55.6	125.0	-11.1	-62.5	1.1	2.9	2.1	0.9
1以上～3未満	147	122	99	90	64	-17.0	-18.9	-9.1	-28.9	32.4	32.2	23.1	18.5
3～5未満	26	19	21	22	25	-26.9	10.5	4.8	13.6	5.1	6.8	5.7	7.2
5～10未満	18	13	8	10	10	-27.8	-38.5	25.0	0.0	3.5	2.6	2.6	2.9
10～20未満	20	20	22	20	20	0.0	10.0	-9.1	0.0	5.3	7.2	5.1	5.8
20～30未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30～50未満	4	1	-	-	-	-75.0	皆減	-	-	0.3	-	-	-
50～100未満	3	2	1	1	-	-33.3	-50.0	0.0	皆減	0.5	0.3	0.3	-
100～200未満	1	2	3	2	2	100.0	50.0	-33.3	0.0	0.5	1.0	0.5	0.6
200～500未満	1	1	1	1	-	0.0	0.0	0.0	皆減	0.3	0.3	0.3	-
500トン以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

9 年齢及び男女別漁業就業者

漁業就業者は315人で、前回より109人(25.7%)減少している。

年齢別にみると、「60歳以上」は196人(構成比62.2%)で、全体に占める割合が高くなる傾向が続いている。さらに、「65歳以上」は漁業就業者の49.8%と全体のほぼ半数を占めている。

表 11 性別、年齢別漁業就業者数の推移

年齢	漁業就業者数(人)					増減率(%)				構成比(%)			
	昭和63年	平成5年	10年	15年	20年	5年	10年	15年	20年	5年	10年	15年	20年
総数	705	537	481	424	315	-23.8	-10.4	-11.9	-25.7	100.0	100.0	100.0	100.0
15～19歳	5	-	2	5	3	皆減	皆増	150.0	-40.0	-	0.4	1.2	1.0
20～29歳	32	18	23	22	22	-43.8	27.8	-4.3	0.0	3.4	4.8	5.2	7.0
30～39歳	89	37	37	26	23	-58.4	0.0	-29.7	-11.5	6.9	7.7	6.1	7.3
40～49歳	141	87	68	47	17	-38.3	-21.8	-30.9	-63.8	16.2	14.1	11.1	5.4
50～59歳	221	144	91	82	54	-34.8	-36.8	-9.9	-34.1	26.8	18.9	19.3	17.1
60歳以上	217	251	260	242	196	15.7	3.6	-6.9	-19.0	46.7	54.1	57.1	62.2
うち65歳以上	109	150	174	185	157	37.6	16.0	6.3	-15.1	27.9	36.2	43.6	49.8
男	704	536	477	418	308	-23.9	-11.0	-12.4	-26.3	100.0	100.0	100.0	100.0
15～19歳	5	-	2	5	3	皆減	皆増	150.0	-40.0	-	0.4	1.2	1.0
20～29歳	32	18	23	22	22	-43.8	27.8	-4.3	0.0	3.4	4.8	5.3	7.1
30～39歳	89	37	37	26	23	-58.4	0.0	-29.7	-11.5	6.9	7.8	6.2	7.5
40～49歳	141	87	67	45	15	-38.3	-23.0	-32.8	-66.7	16.2	14.0	10.8	4.9
50～59歳	221	143	89	81	52	-35.3	-37.8	-9.0	-35.8	26.7	18.7	19.4	16.9
60歳以上	216	251	259	239	193	16.2	3.2	-7.7	-19.2	46.8	54.3	57.2	62.7
うち65歳以上	109	150	174	183	155	37.6	16.0	5.2	-15.3	28.0	36.5	43.8	50.3
女	1	1	4	6	7	0.0	300.0	50.0	16.7	100.0	100.0	100.0	100.0
15～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30～39歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40～49歳	-	-	1	2	2	-	皆増	100.0	0.0	-	25.0	33.3	28.6
50～59歳	-	1	2	1	2	皆増	100.0	-50.0	100.0	100.0	50.0	16.7	28.6
60歳以上	1	-	1	3	3	皆減	皆増	200.0	0.0	-	25.0	50.0	42.9
うち65歳以上	-	-	-	2	2	-	-	皆増	0.0	-	-	33.3	28.6

図5 年齢別漁業就業者数の推移

